

4月23日~5月12日
こどもの読書週間
23日は子ども読書の日

読むって楽しい! 広げよう子どもの読書

読書は、子どもが言葉を学び、感性を磨き、表現力や創造力を豊かなものにし、生きる力を身につけていくうえで、とても大切なものです。たくさん本が並ぶ図書館で、子どもと一緒に本や絵本を読んで、楽しい時間を過ごしてみませんか。

中央図書館 ☎441-6181



行ってみよう

図書館では、子どもと一緒に過ごしながら、たくさん本と出会うことができます。市内には、中央図書館と10の分館があります。各館の絵本コーナーは「赤ちゃん絵本」「のりもの」「ちしき」などテーマごとに並んでいます。また、季節や行事に合わせた本の展示や、おすすめの本のコーナーなどもあります。

うちの近くの図書館へ行ってみよう

各図書館の詳細は、図書館(下のQRコードからアクセス可)参照



市内どこの図書館でも同じサービスが受けられます。



どれがいいかな

借りてみよう

図書館の本の貸し出しには利用カードが必要です。利用カードは0歳から作ることができます。



利用カードはどうやって作るの?

氏名・住所を証明できるもの(運転免許証・健康保険証・学生証など)と在勤・在学の方は、社員証・勤務証明書・学生証などを持って各図書館の窓口へ。

どこに返却するの?

市内どこの図書館でも返却できます。閉館時は本の返却用ポスト(ブックポスト)をご利用ください。

返却日までに読みきれなかったら?

本・雑誌は2週間、視聴覚資料は1週間の延長(他の利用者の予約がない場合に限る)ができます。

探してみよう



おもしろそう

調べもの、探しものは図書館員に聞いてみよう

「子どもにどんな本を薦めたらよいかかわからない」「借りたい本が見つからない」など、困ったときは図書館員に相談してみましょう。

蔵書検索・予約システムを利用しよう

図書館(右のQRコードからアクセス可)から借りたい本を探したり、予約できます。



パスワードを登録してみよう

パスワードを登録すると、図書館・ぴゅー太(館内蔵書検索用パソコン)で延長や予約ができます。



パスワードを登録すると、お気に入りの本の記録を残すこともできます。



▲ぴゅー太(館内蔵書検索用パソコン)



これなあに



どれにしよう

つぎはこれよんで!



子どもを本好きにするためのヒント

読んであげる

自分で読むことだけが本を楽しむ方法ではありません。子どもが字が読めるようになって、読んであげる時間を大切にしましょう。

自分自身も読む

大人が読書を楽しんでいる姿を見て、子どもも読書に興味を持ちます。「今日読んだ本、面白かったよ、あのね…」とお互いに伝え合きましょう。

「賢くするための読書」はやめる

「本っておもしろいな」と感じることで子どもは読書に親むことができます。読書を強制せず、その子の「お気に入りの1冊」を認めてあげましょう。

さまざまなことに興味を持つことで、物語の世界を共感できます。



活字による読書が難しい人向けのサービスは?

布の絵本

ボタンやマジックテープなどを使って、楽しく遊びながら障害のある子どもたちの成長・発達を助けるよう工夫された絵本の貸し出しも行っていきます。

マルチメディアデジ(電子図書)

専用端末やタブレットなどの画面で、音声に合わせて読んでいく部分がハイライト表示されるので、文字が苦手な方でも、理解しやすくなります。

図書館に行けない人は借りられないの?

心身の障害・高齢・出産などのため、図書館を利用したくても来館が困難な方に、本をお届けする宅配サービスもあります。詳細は図書館(右のQRコードからアクセス可)参照

中央図書館利用支援係 ☎441-6191



いっしょに楽しもう

各図書館では、親子で楽しめるイベントを実施しています。

おはなし会

0歳から参加できる「0・1・2歳のおはなし会」と、3歳から小学生向けの「おはなし会」を実施しています。絵本の読み聞かせのほか、わらわらたや手遊びなど、おはなしの世界を楽しめます。



小学生読書会(年間会員制)

小学校4~6年生を対象にした、幅広く本の楽しさを知ってもらうための読書会です。本の紹介や読み聞かせ・ストーリーテリング(お話を覚えて語ること)を中心に、工作なども行います。